

再使用禁止 (禁忌・禁止参照)

肺機能検査システム CHESTAC-01

【禁忌・禁止】

＜使用方法＞

- ・可燃性麻酔ガス及び高濃度酸素雰囲気内では絶対に使用しないこと。(爆発又は火災を起こすため)
- ・以下の構成品は単回使用であるため再使用しないこと。
アイ・フィットマウスピース D マウスピース
スパイロフィルタ 999

* 【形状・構造及び原理等】

〔構成〕

本体 (患者用モニタ、技師用モニタ、プリンタ)、呼吸管 (FV 管)、呼吸管 (FRC 管)、自動三方コック、リモートスイッチ、電源コード、吸収剤容器、酸素ガス減圧弁、標準 (4 種混合) ガス減圧弁、標準 (3 種混合) ガス減圧弁、標準 (2 種混合) ガス減圧弁、スパイロフィルタ 999、マウスピース、ノーズクリップ、ソーダライム (1L 入り)、シリカゲル (500 g 入り)、ポンベスタンド、ポンベスパナ、較正用シリンジ、ボディボックス、真空ポンプ、ISO コック、DLCO S.S コック、FV 管ホルダ、空気減圧弁、SpO₂ センサ (有線)、マスク、マスク用治具、較正用シリンジ台、ID カードリーダー、バーコードリーダー、リーダスタンド、フットスイッチ、ソーダライム充填治具

併用医療機器

販売名: スパイロフィルタ 999
認証番号: 223A1BZX00043000

種類

本装置は型式により測定項目とハードウェアが異なる。

型式	D	BD	DN	BDN	S	F
測定項目						
肺気量分画	○	○	○	○	○	○
強制呼出曲線	○	○	○	○	○	○
フローボリューム曲線	○	○	○	○	○	○
パーソナルフローボリューム	○	○	○	○	○	○
最大換気量	○	○	○	○	○	○
安静換気量	○	○	○	○	○	○
基礎代謝	○	○	○	○	○	○
機能的残気量	○	○	○	○	○	○
肺拡散能力	○	○	○	○	○	○
クロージングボリューム	○	○	○	○	○	○
N ₂ 洗い出し	○	○	○	○	○	○
アイソフローボリューム	○	○	○	○	○	○
肺拡散能力 (恒常状態法)	○	○	○	○	○	○
胸部内気量	○	○	○	○	○	○
気道抵抗	○	○	○	○	○	○
静肺コンプライアンス	○	○	○	○	○	○
動肺コンプライアンス	○	○	○	○	○	○

〔機器の分類〕

電撃に対する保護の形式による分類

クラス I 機器

電撃に対する保護の程度による装着部の分類

BF 形装着部

水の有害な浸入に対する保護の分類: IPX0

〔電気的定格〕

定格電源電圧 AC100V

定格電源周波数 50/60Hz
電源入力 1350VA

〔形状〕



寸法: 約 762 (W) × 685 (D) × 793 (H) mm
(可動部、突起部を除く)
質量: 約 189kg (本体)

〔使用環境〕

温度: 10~40℃
湿度: 10~90% (結露しないこと)
気圧: 700~1060hpa

〔動作原理〕

ローリングシール式スパイロメータからの体積信号、ガスアナライザからのガス濃度信号等、すべてのアナログ信号はメイン基板上の CPU と A/D 変換器によりデジタル量に変換される。また流量は、体積変化をアナログ的に微分して求める。パソコンは上記信号を取り込むと同時に、種々の計算、電磁弁の制御等、検査に必要なことをすべて行う。情報はすべて液晶表示器で確認でき、また検査結果はハードディスクに保存および、プリントアウト可能である。

【使用目的又は効果】

本装置は肺のガス交換 (換気、分布、拡散) 及び呼吸中枢の機能を測定するために使用する。

【使用方法等】

1. 準備
 - 1) 電源投入後、本装置が安定するまで暖機運転を行う。
 - 2) 吸収剤の状態を確認し、必要であれば新しいものと交換する。
 - 3) ガスポンベの元栓を開く。
2. 使用開始
 - 1) 被検者情報を入力する。
 - 2) 被検者にノーズクリップを装着し、マウスピースをくわえさせる。
 - 3) 測定モードに応じたセットアップを行う。
 - 4) 測定を開始し、被検者に測定モードに応じた呼吸をさせる。
 - 5) 測定結果を印刷する。
3. 使用後

- 1) ガスボンベの元栓を閉める。
- 2) OS を終了させ電源を切る。

***【使用上の注意】**

- ・当社指定の消耗品を使用すること。
- ・当社指定以外の記憶装置をつなげないこと。
- ・本装置に異常が見られた場合、直ちに電源を切り当社のサービス又は営業部門に連絡すること。
- ・スパイロフィルタ 999 を使用すること[性能が担保できないため]。
- ・すべてのコードやチューブ類が正しく接続されていることを確認すること。
- ・患者に異常が発見された場合には、測定を中止すること。
- ・シリコンマウスピースは使用后、消毒又は滅菌すること。
- ・本装置の動作時はハッチを開けないこと。
- ・ガスボンベの元栓はゆっくり開くこと。
- ・バルーンヘッドを下げる時には、手や本体にぶつからないように注意すること。
- ・インターネットに接続しないこと。
- ・使用しないときはガスボンベの元栓を閉めること。
- ・振動や衝撃を受けない水平な場所に設置すること。
- ・自動三方コックの支持アームに手を挟まないように注意すること。
- ・呼吸管が確実に接続されていることを確認すること。
- ・ガスの種類に応じた色のチューブの減圧弁が取り付けられているか確認すること。
- ・水がかからないように注意すること。

【保管方法及び有効期間等】

耐用期間 6 年 [自己認証 (当社データ) による]

保管条件

温度: 0~60℃

湿度: 10~95% (結露しないこと)

気圧: 700~1060hpa

【保守・点検に係る事項】

[使用者による保守点検事項]

1. 清掃、消毒について
 - ・呼吸管、ハッチ内部、三方コック、本体外装の清掃 (使用日毎)
 - ・シリコンマウスピースの消毒又は滅菌 (患者毎)
2. 交換
 - ・ソーダライムボックス、ソーダライム管のソーダライム (適宜)
 - ・シリカゲル管のシリカゲル (適宜)
 - ・アイ・フィットマウスピース/D マウスピース (被検者毎)
 - ・スパイロフィルタ 999 (被検者毎)
 - ・真空ポンプのオイル交換 (適宜)
 - ・減圧弁のパッキン (適宜)

[業者による保守点検事項]

1. 各機能確認
2. 精度確認
3. 安全確認

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者: チェスト株式会社

TEL: 03-3813-7200